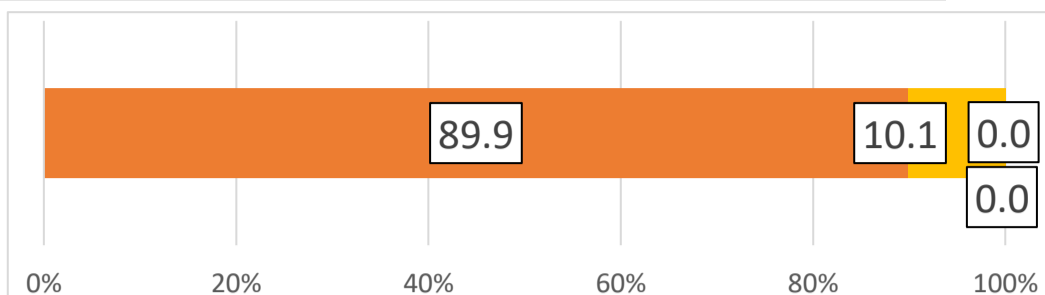


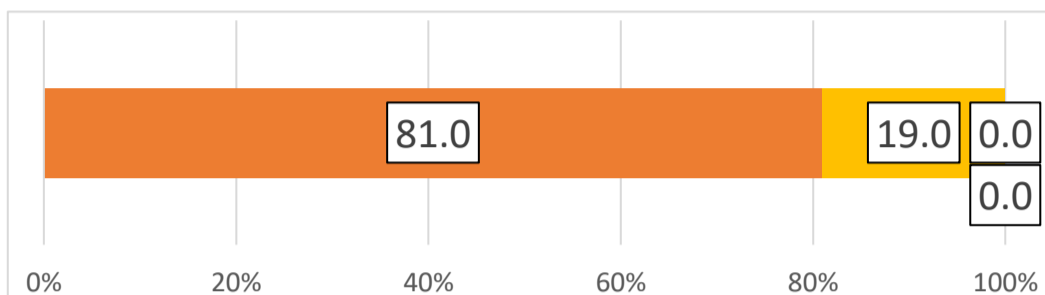
令和7年度 第2回 広島版「カリキュラム・マネジメントシート」回答集計【県全体(中学校)】

■ よくあてはまる
 ■ どちらかといえばあてはまる
 ■ どちらかといえばあてはまらない
 ■ ほとんどあてはまらない

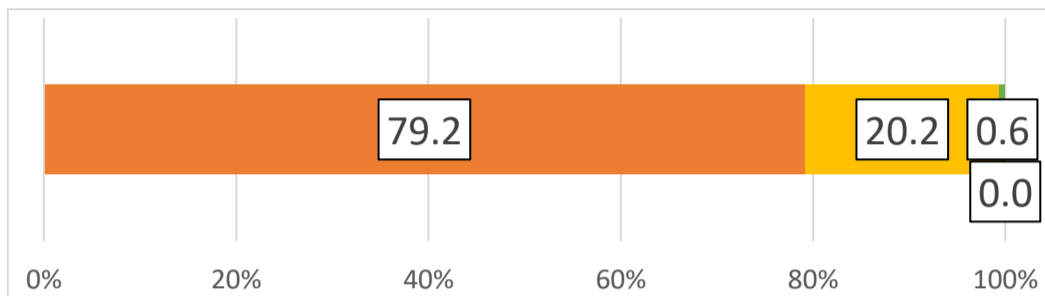
1. 学校の教育目標や重点目標は、児童生徒に育成を目指す資質・能力を明らかにし、具体的に記述している。



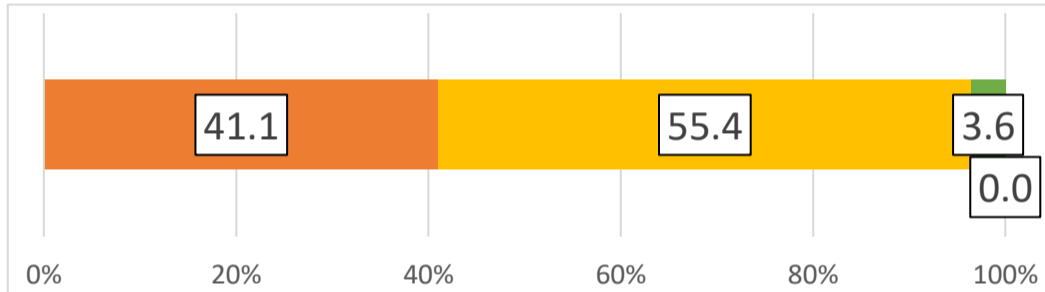
2. 学校の教育目標や重点目標を踏まえ、児童生徒に育成を目指す資質・能力をバランスよく設定している。



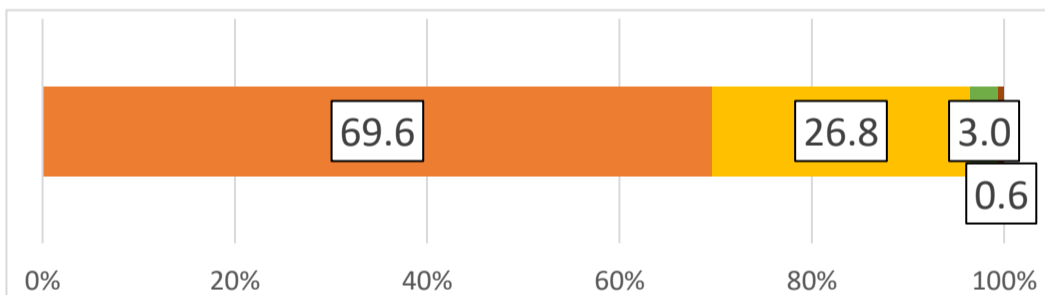
3. 学校の教育目標や重点目標、児童生徒に育成を目指す資質・能力は、児童・生徒や地域の実態を踏まえて設定している。



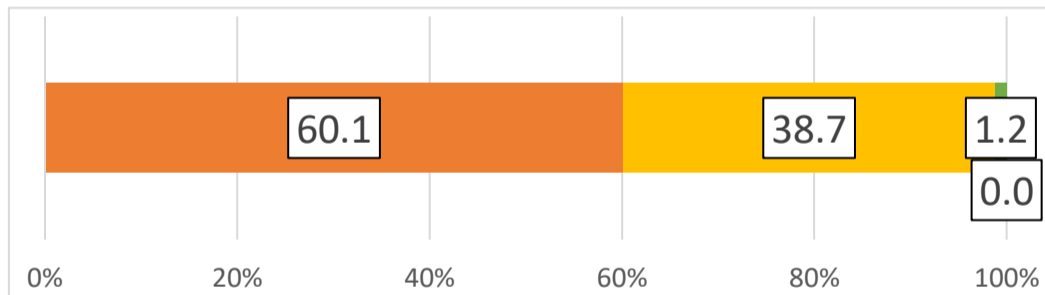
4. ほとんどの教職員は、学校の教育目標や重点目標、児童生徒に育成を目指す資質・能力を具体的に説明できる。



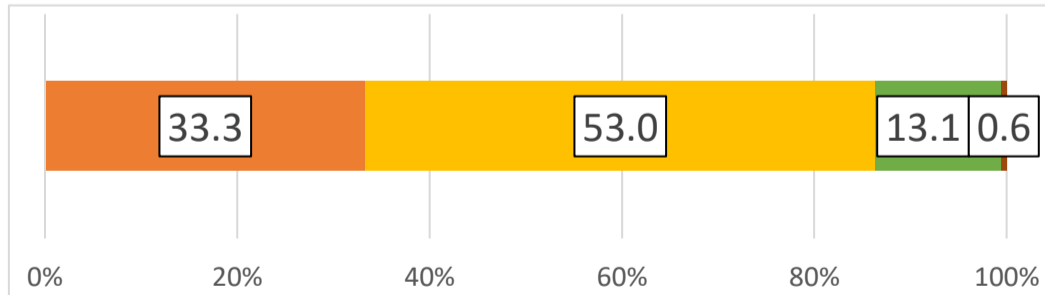
5. 児童生徒の資質・能力を系統的に育成するため、育成を目指す資質・能力について、(中学校区等での)小中連携を行っている。



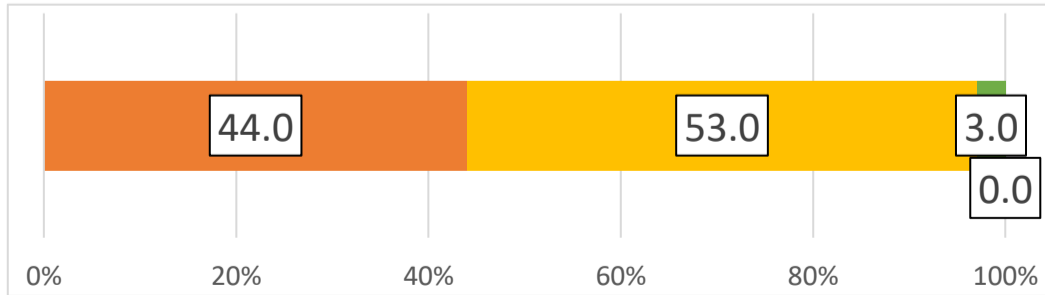
6. 学校経営計画、学年経営案、学級経営案は、それぞれの目標や内容が連動するよう作成されている。



7. 教科等横断的な視点で、各学年・各教科等の学習の目標や内容の相互関連を、図や表で分かりやすく整理している。



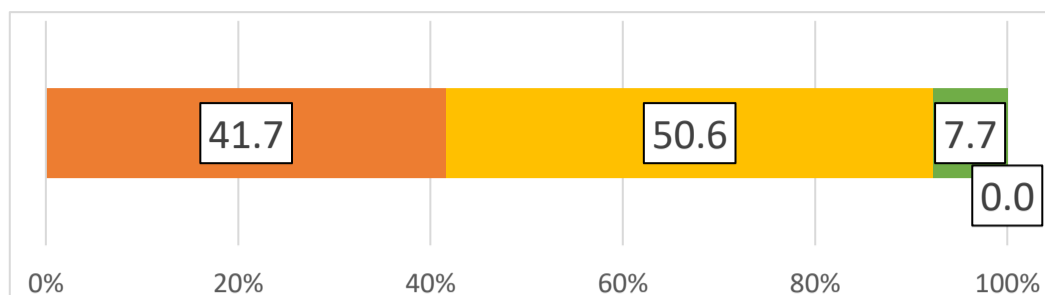
8. 教育課程を計画する際、自校の教育課程を評価する指標や方法、時期などを合わせて計画している。



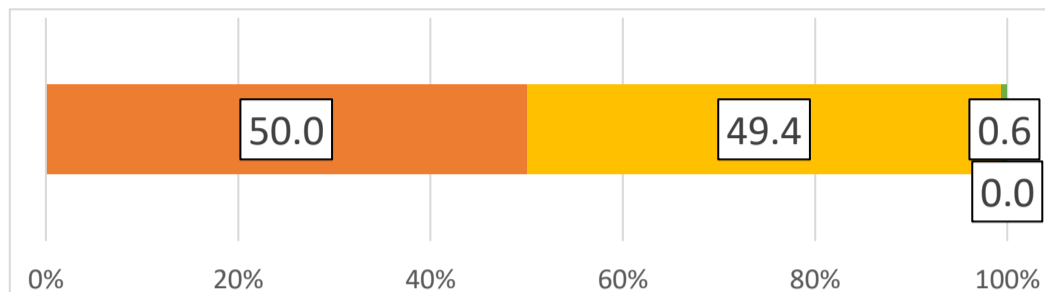
令和7年度 第2回 広島版「カリキュラム・マネジメントシート」回答集計【県全体(中学校)】

よくあてはまる どちらかといえばあてはまる どちらかといえばあてはまらない ほとんどあてはまらない

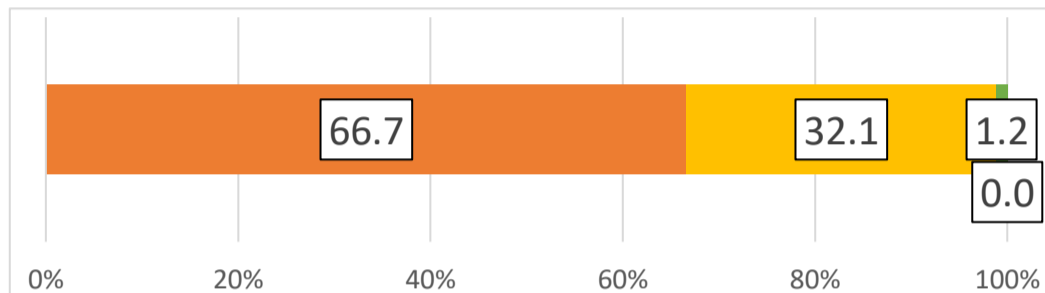
9. キャリア教育の全体計画は、地域や産業界等との連携が十分に図られるよう作成している。



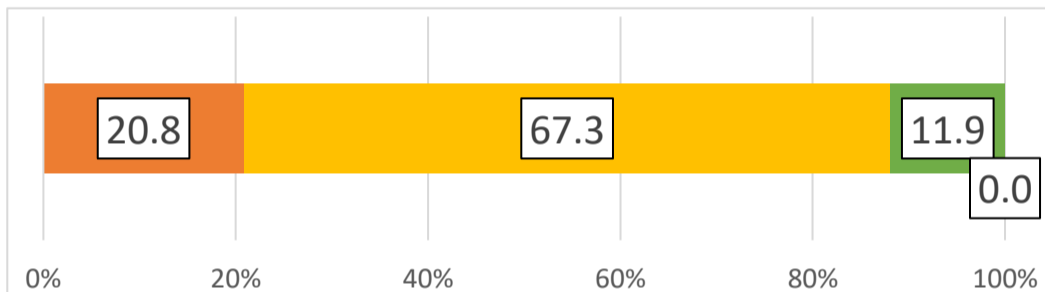
10. (「課題発見・解決学習」をはじめとした)児童生徒の「主体的な学び」を促す教育活動が、学校教育の様々な場面で行われるよう、教育課程を計画している。



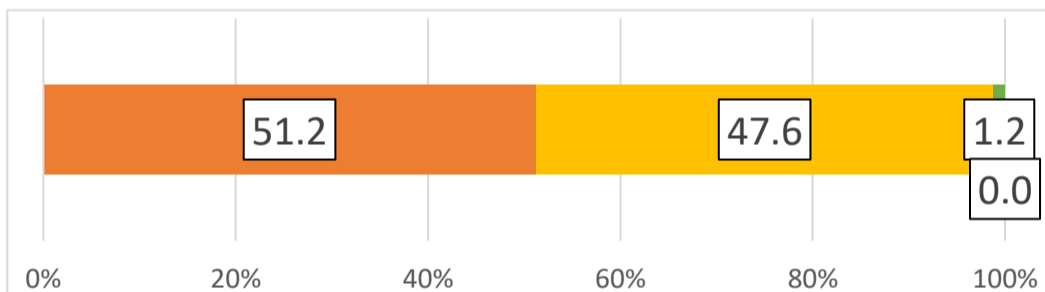
11. ほとんどの教職員は、学校の教育目標や重点目標を意識して授業や行事に取り組んでいる。



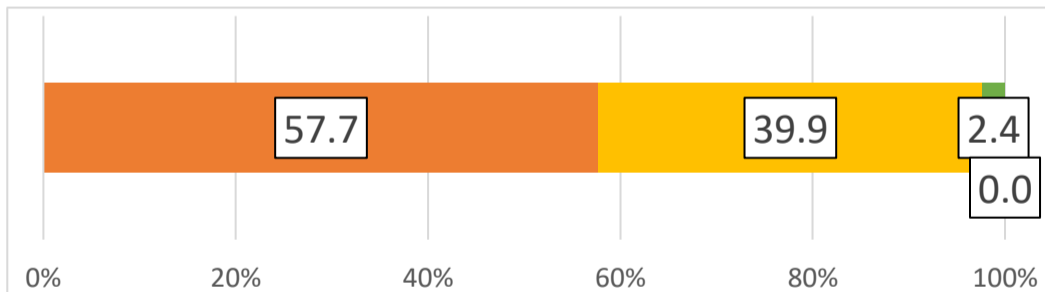
12. ほとんどの教員は、教科等横断的な視点で、各教科等の目標や内容の相互の関連を意識して、日々の授業を行っている。



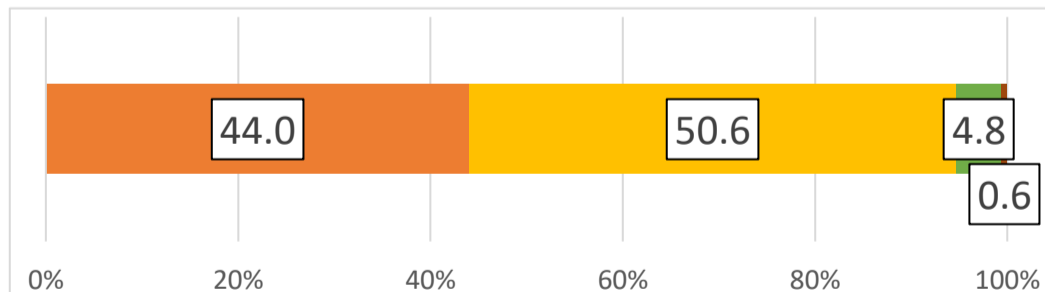
13. ほとんどの教員は、既習事項や、先の学年で学ぶ内容との関連(系統性)を意識して指導している。



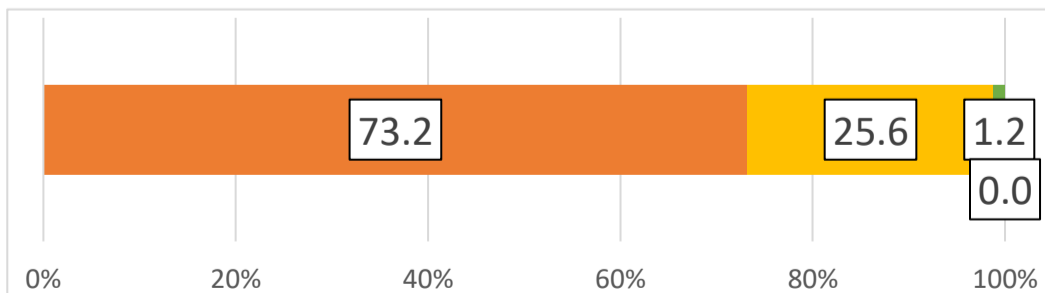
14. 総合的な学習の時間は、探究的な学習過程を通して自らの生き方を考える構成になっている。



15. 学習につまずきが見られる児童生徒に対して、個々の状況に応じた支援を、組織的に行っている。



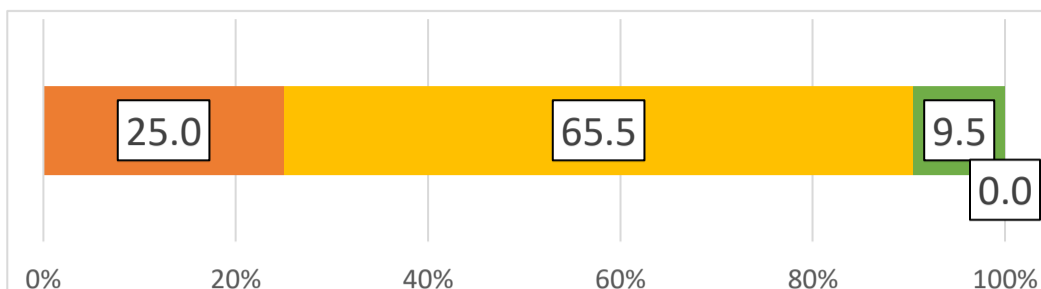
16. 不登校等の状況がある児童生徒に対して、個々の状況に応じた支援を、組織的に行っている。



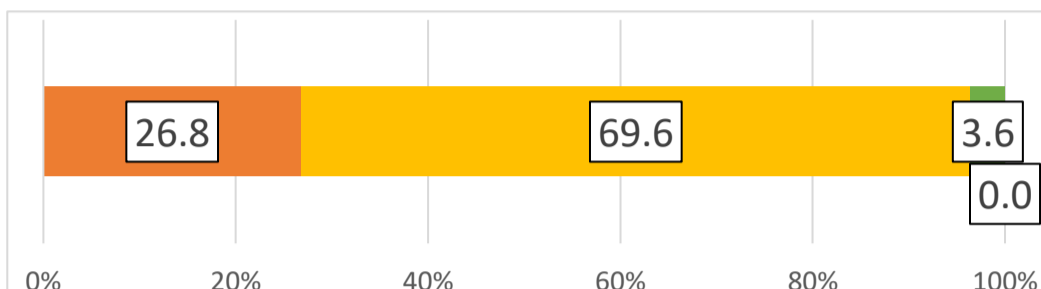
令和7年度 第2回 広島版「カリキュラム・マネジメントシート」回答集計【県全体(中学校)】

よくあてはまる どちらかといえばあてはまる どちらかといえばあてはまらない ほとんどあてはまらない

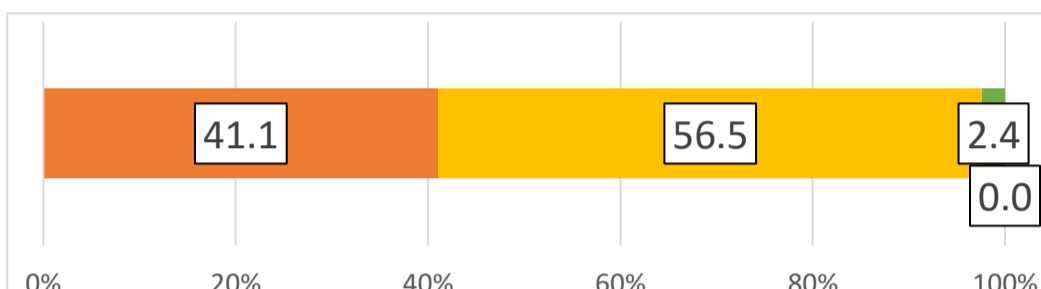
17. ほとんどの教職員は、教育課程の改善に役立つような記録（メモ・気づき）を残している。



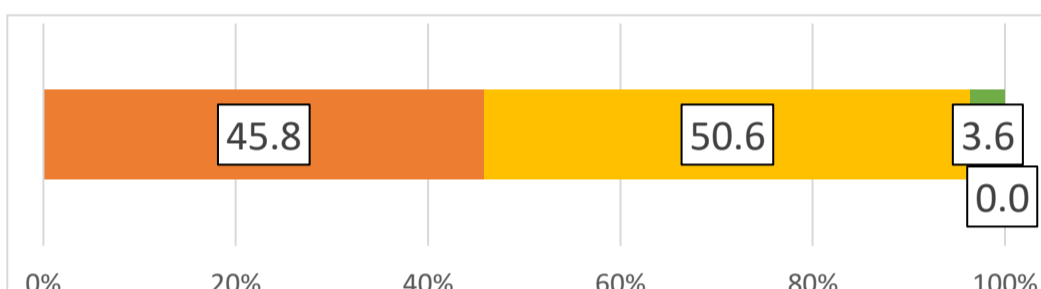
18. 児童生徒の学習成果の評価だけでなく、教育課程や授業の評価も行なっている。



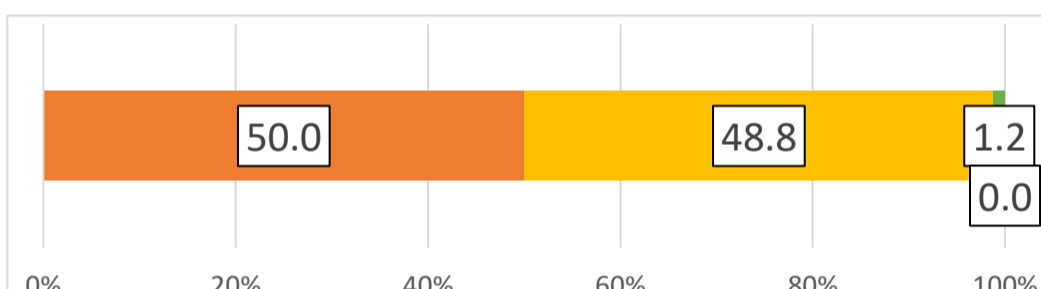
19. 児童生徒の資質・能力の育成の状況について評価している。



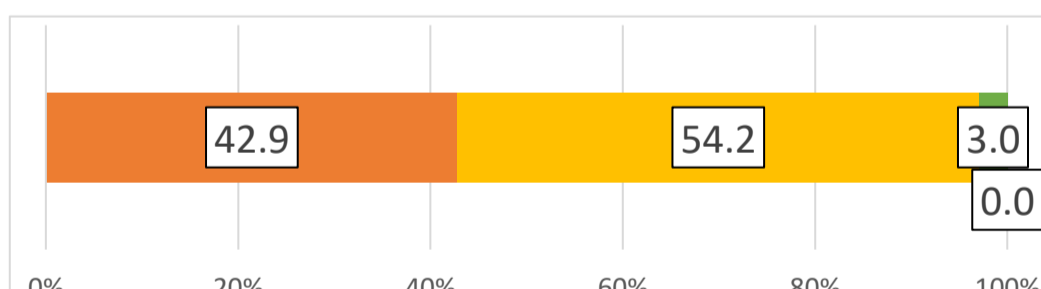
20. 学校として取り組んでいる授業研究が、学校の課題解決に役立っているかについて評価している。



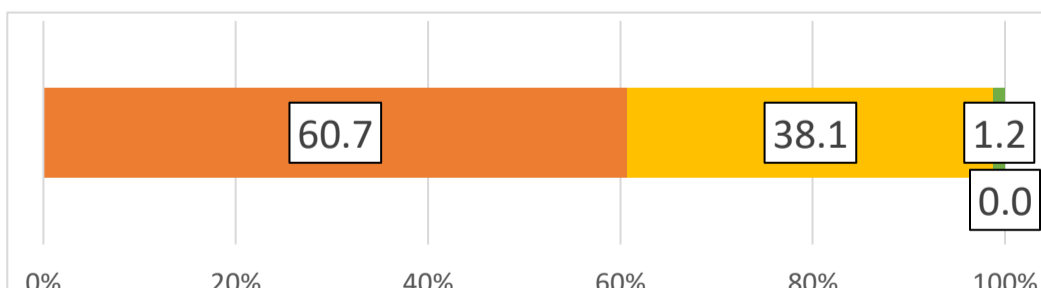
21. 教育課程の評価を、次年度の教育課程の具体的な改善につなげている。



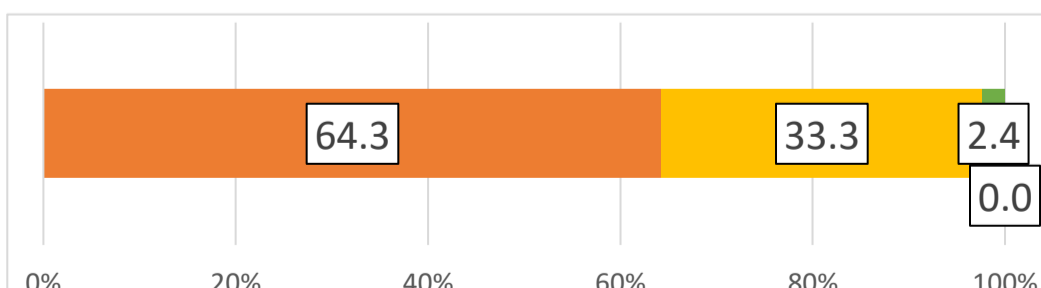
22. 児童生徒の資質・能力の育成の状況の評価した上で、教育課程の改善に生かしている。



23. 全国学力・学習状況調査やその他の学力調査等の分析結果を、対象学年・教科だけでなく学校全体の指導計画や授業の改善につなげている。



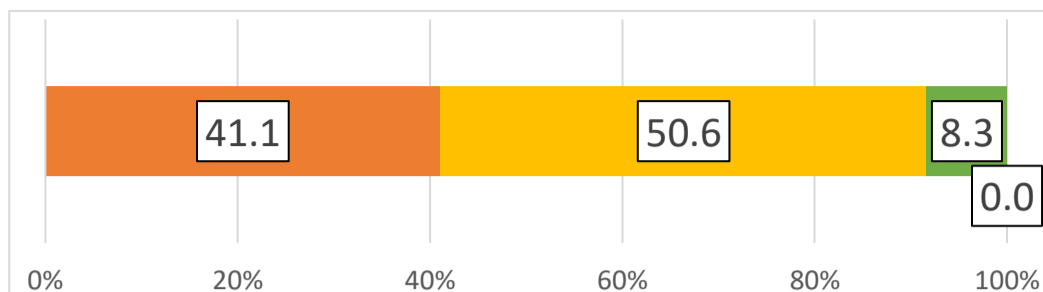
24. ほとんどの教職員は、学校の授業研究の成果を、日頃の授業改善に積極的に生かしている。



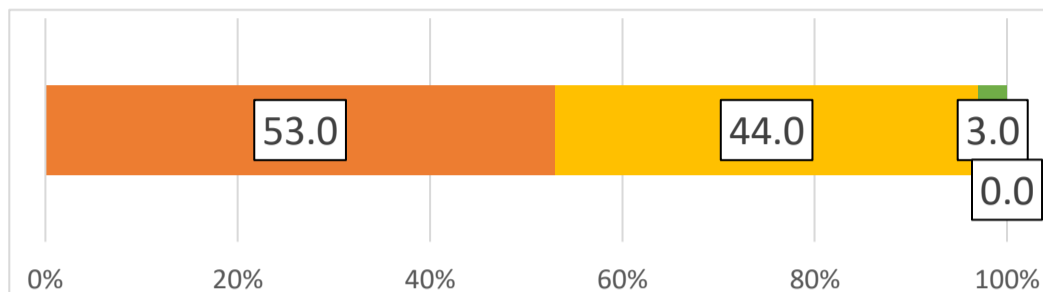
令和7年度 第2回 広島版「カリキュラム・マネジメントシート」回答集計【県全体(中学校)】

よくあてはまる どちらかといえばあてはまる どちらかといえばあてはまらない ほとんどあてはまらない

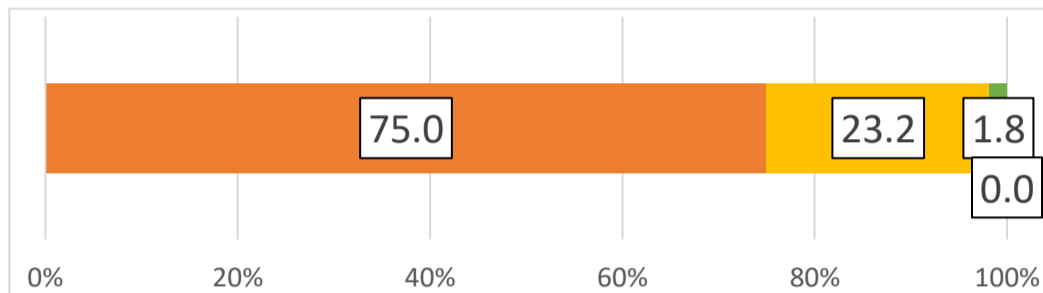
25. 教育課程の編成、評価及び改善に、全教職員が関わる組織体制が整備されている。



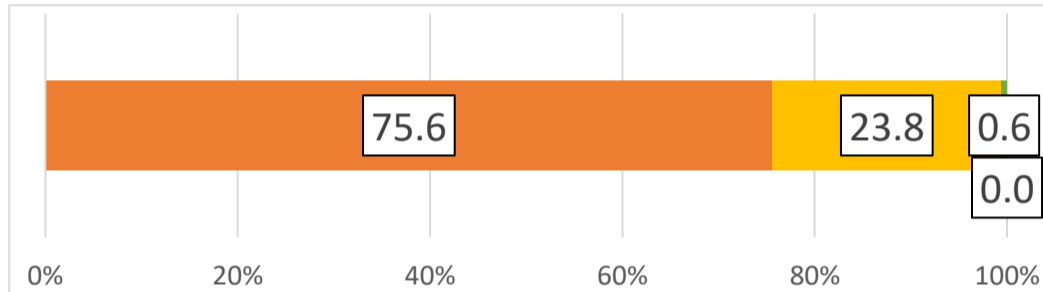
26. 目指す教育活動を行うために必要な研究・研修ができるよう時間確保への配慮をしている。



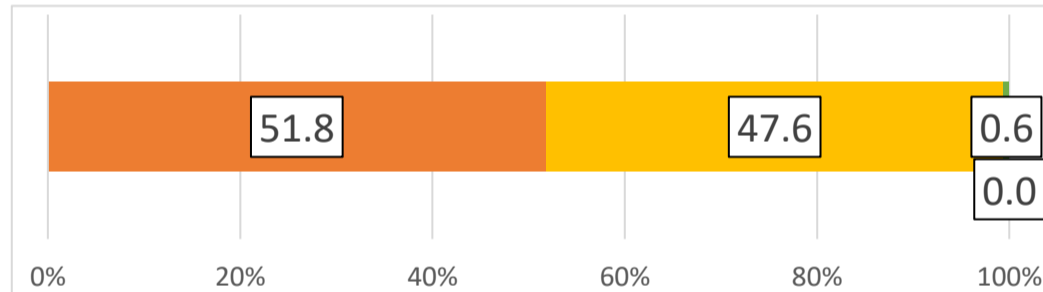
27. 教職員が、他校や研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるように支援している。



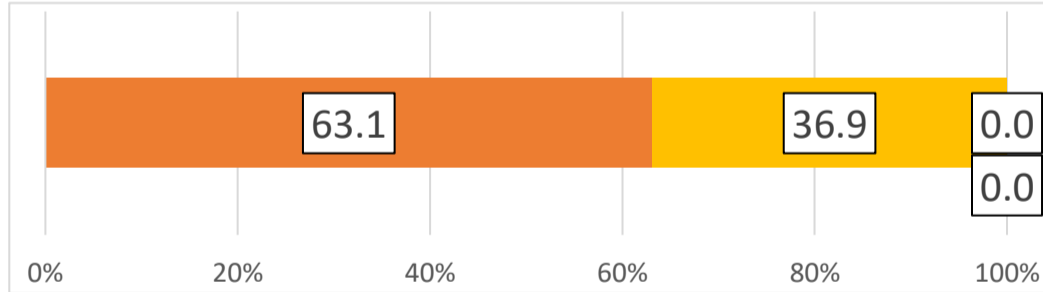
28. 新しい実践への挑戦が奨励され、結果により個人が責められることのない風土がある。



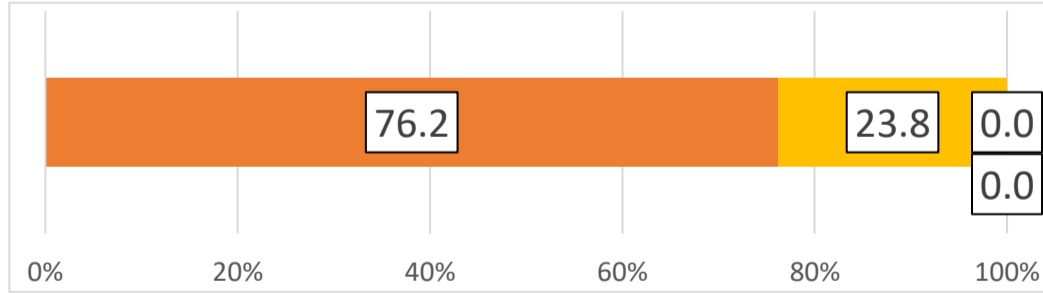
29. ほとんどの教職員は、学校が力を入れている実践（特色）を具体的に説明できる。



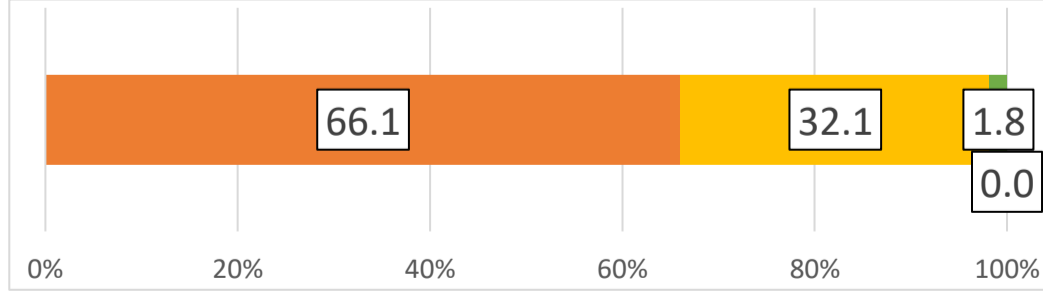
30. ほとんどの教職員には、自己の知識や技能、実践内容を相互に提供しあう姿勢がある。



31. ほとんどの教職員は、学級や学年を越えて、児童生徒の成長を伝えあい、喜びを共有している。



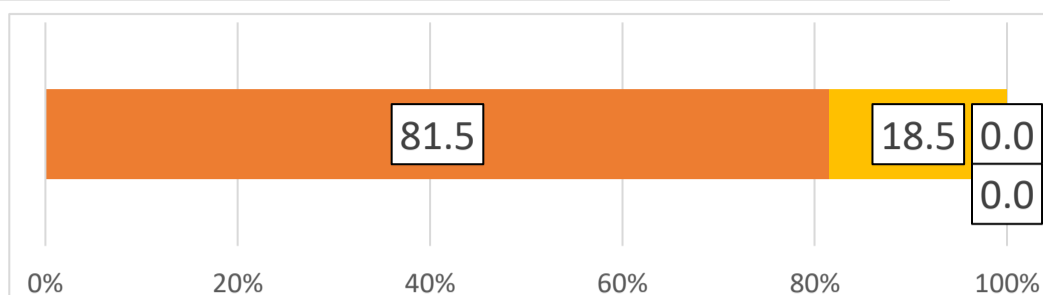
32. ほとんどの教職員には、自分の担当学年・教科だけでなく、学校の教育課程全体で、組織的に児童生徒を育てていくという意識が強い。



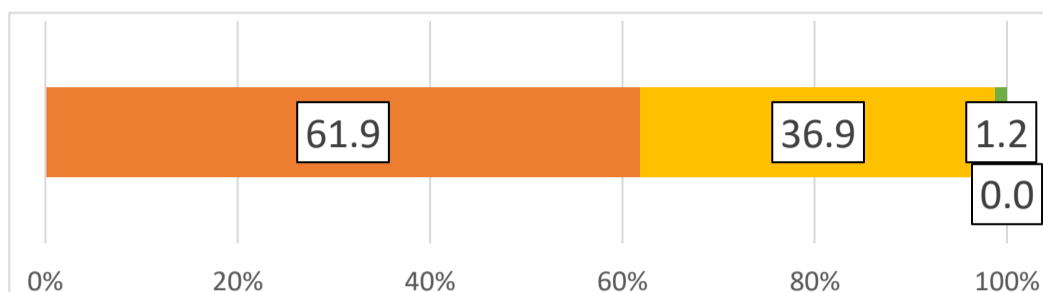
令和7年度 第2回 広島版「カリキュラム・マネジメントシート」回答集計【県全体(中学校)】

よくあてはまる どちらかといえばあてはまる どちらかといえばあてはまらない ほとんどあてはまらない

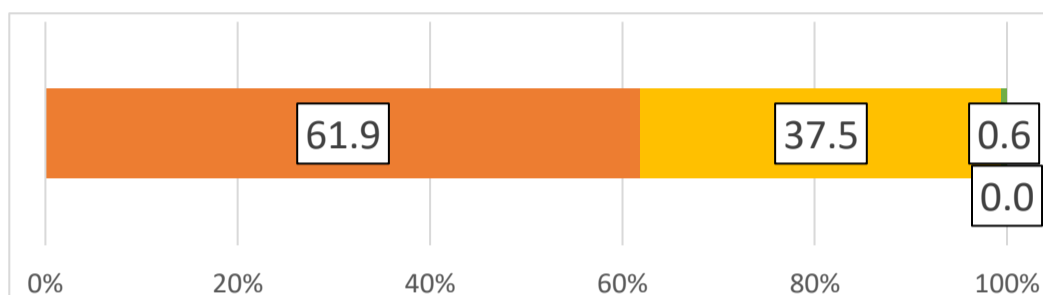
33. 校長は、教育と経営の全体を見通し、ビジョンや戦略を示している。



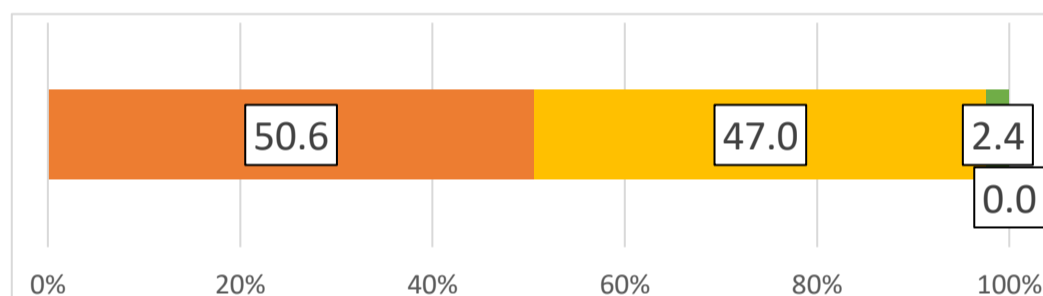
34. 教頭は、ビジョンの具体化を図るために、学校として協働して取り組む体制や雰囲気づくりに尽力している。



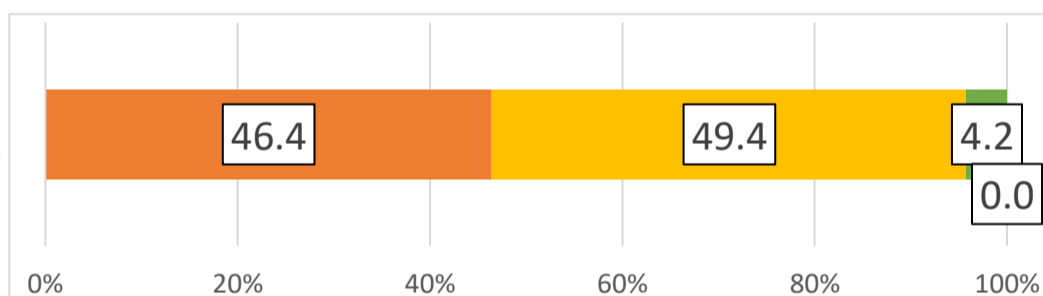
35. 主任等は、ビジョンをもとにカリキュラムの工夫や研究推進の具体策を示し、実行・点検している。



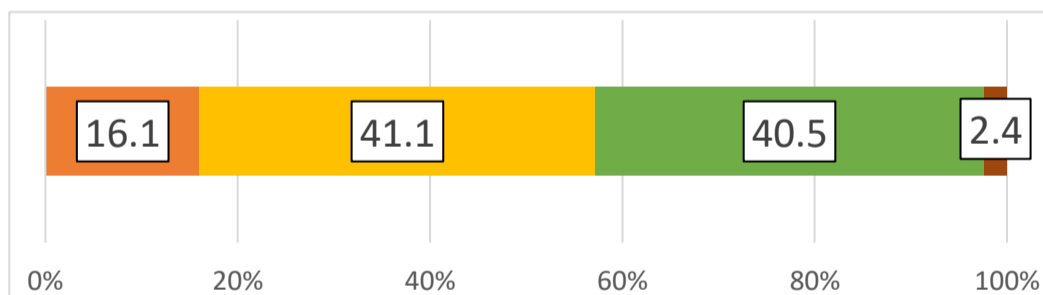
36. ほとんどの教職員が、立場や役割に応じてリーダーシップを発揮している。



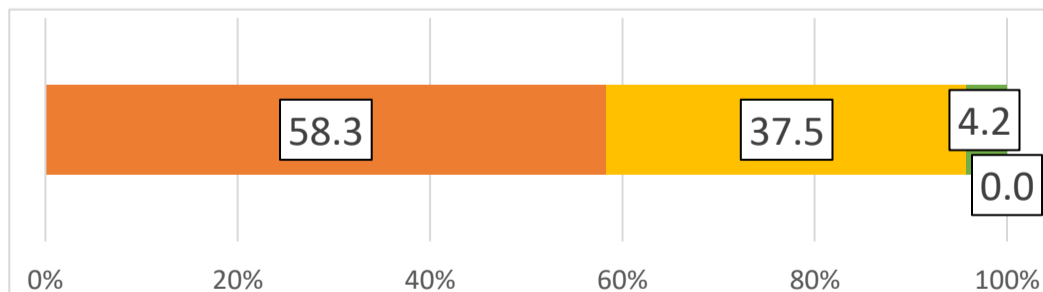
37. 学校の教育の成果と課題を保護者・地域と共有し、共に解決策を考えたり行動したりする機会がある。



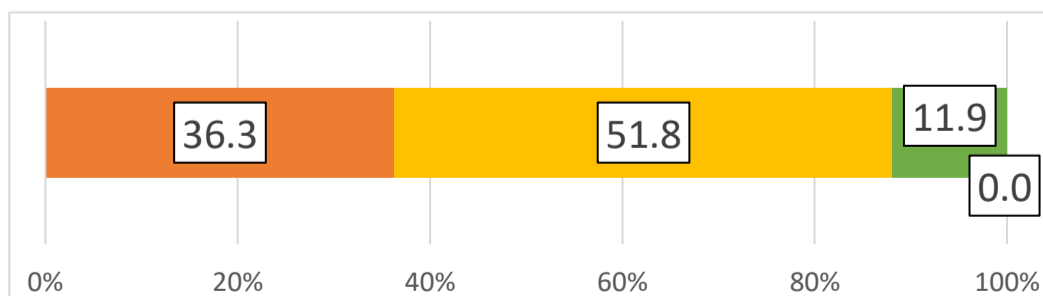
38. 目指す教育活動のために、図書館・博物館・美術館・資料館等の学校外の施設を積極的に利用している。



39. 目指す教育活動のために、地域や産業界等に対し積極的に支援や協力を依頼している。



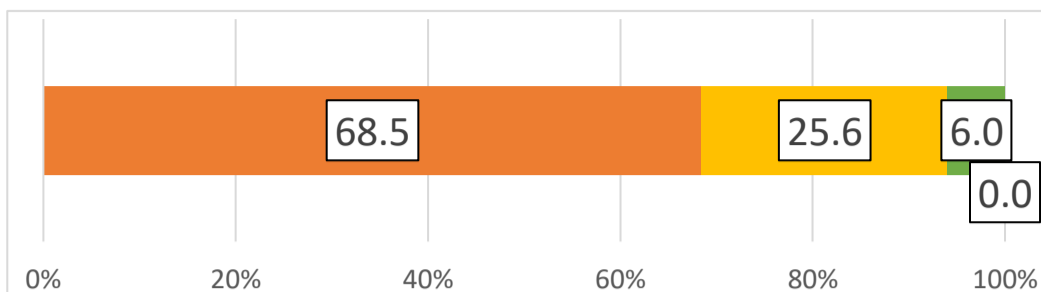
40. 地域の人材や素材を積極的に活用する教職員が多い。



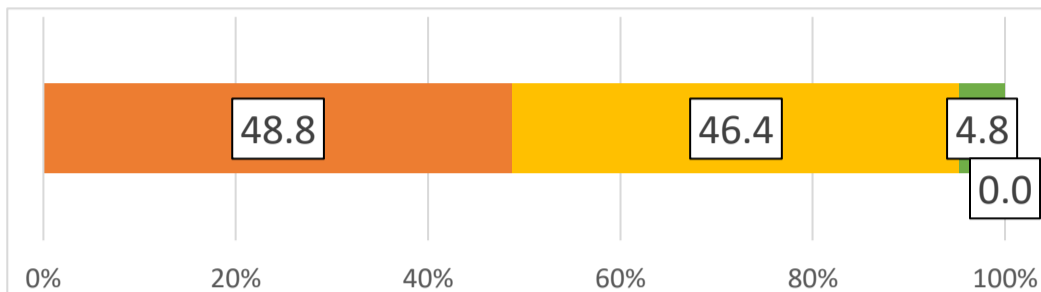
令和7年度 第2回 広島版「カリキュラム・マネジメントシート」回答集計【県全体(中学校)】

よくあてはまる どちらかといえばあてはまる どちらかといえばあてはまらない ほとんどあてはまらない

41. 指導主事等の訪問の機会を積極的に活用している。



42. ほとんどの教職員が、国や県教育委員会、市町教育委員会主催の教員研修に積極的に参加している。



43. 国や県・市町が提供している資料等を積極的に活用している。

